

イーストスプリング
 US 投資適格債ファンド・
 為替ヘッジ付
 (毎月決算型) / (年2回決算型)
 【愛称：USAボンド毎月 / USAボンド】

追加型投信 / 海外 / 債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
 〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

作成対象期間 2021年10月22日～2022年4月21日

(毎月決算型)

第66期 2021年11月22日決算 第69期 2022年2月21日決算

第67期 2021年12月21日決算 第70期 2022年3月22日決算

第68期 2022年1月21日決算 第71期 2022年4月21日決算

(年2回決算型)

第12期 2022年4月21日決算

(毎月決算型)

日経新聞掲載名：USAボンド

第71期末	基準価額	9,509円
	純資産総額	36百万円
第66期～ 第71期	騰落率	-11.0%
	分配金合計	60円

(年2回決算型)

日経新聞掲載名：USAボンド

第12期末	基準価額	10,016円
	純資産総額	2,371百万円
第12期	騰落率	-11.5%
	分配金合計	0円

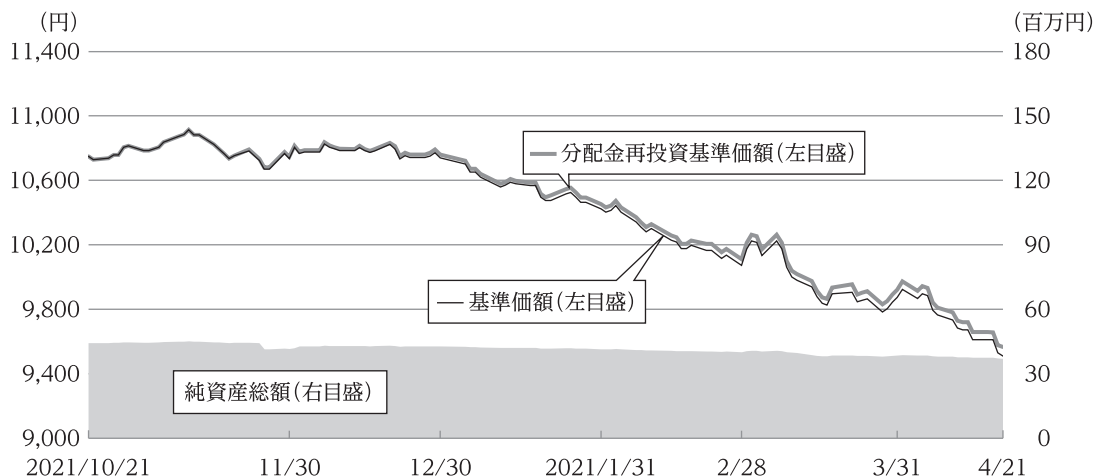
(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

(毎月決算型)

基準価額等の推移について

(2021年10月22日～2022年4月21日)



第66期首	10,749円
第71期末	9,509円 (既払分配金60円)
騰落率	-11.0% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

下落要因



米国投資適格社債の価格が下落(利回りは上昇)したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2021年10月22日～2022年4月21日)

項目	第66期～第71期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	36円	0.346%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、10,443円です。
(投信会社)	(11)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(23)	(0.219)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.043	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(4)	(0.043)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	40	0.389	

(注1)作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

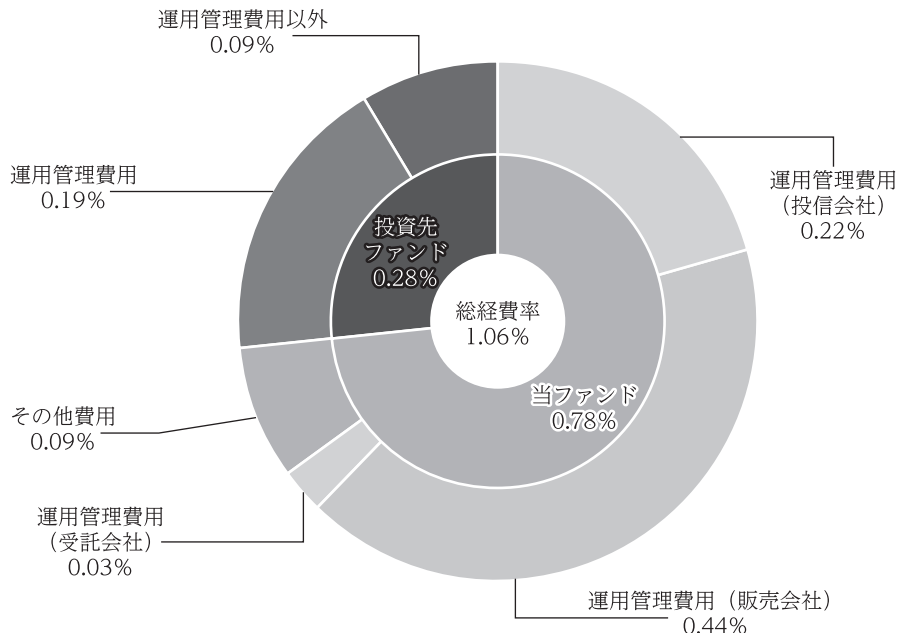
(注3)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4)各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

■総経費率

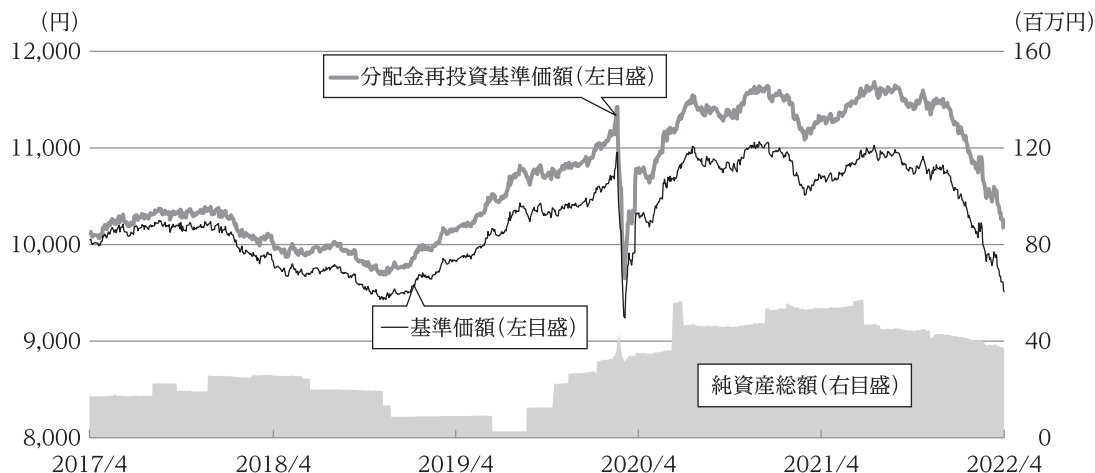
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.06%です。



総経費率 (①+②+③)	1.06%
①当ファンドの費用の比率	0.78%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

- (注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 投資先ファンドでは、監査費用等がかかる場合がありますが、上記の「運用管理費用以外」には含まれておりません。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2017年4月21日～2022年4月21日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2017年4月21日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2017/4/21	2018/4/23	2019/4/22	2020/4/21	2021/4/21	2022/4/21
基準価額	(円)	10,050	9,818	9,831	10,316	10,681	9,509
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	-1.1	1.4	6.2	4.7	-10.0
純資産総額	(百万円)	17	25	8	35	53	36

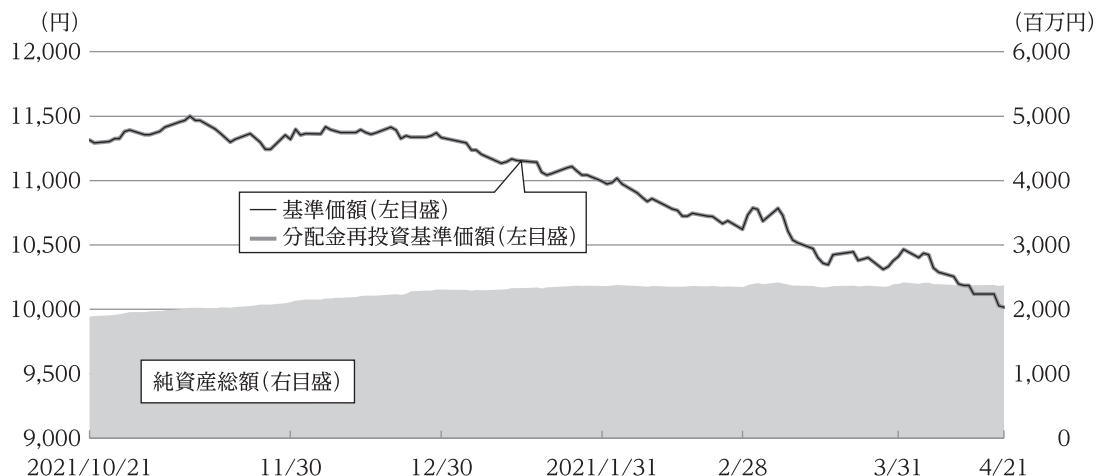
*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

運用経過

(年2回決算型)

基準価額等の推移について

(2021年10月22日～2022年4月21日)



第12期首	11,315円
第12期末	10,016円 (既払分配金0円)
騰落率	-11.5% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因



米国投資適格社債の価格が下落(利回りは上昇)したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2021年10月22日～2022年4月21日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	38円	0.346%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,012円です。
(投信会社)	(12)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(24)	(0.219)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.042	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(4)	(0.035)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(1)	(0.007)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	43	0.388	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

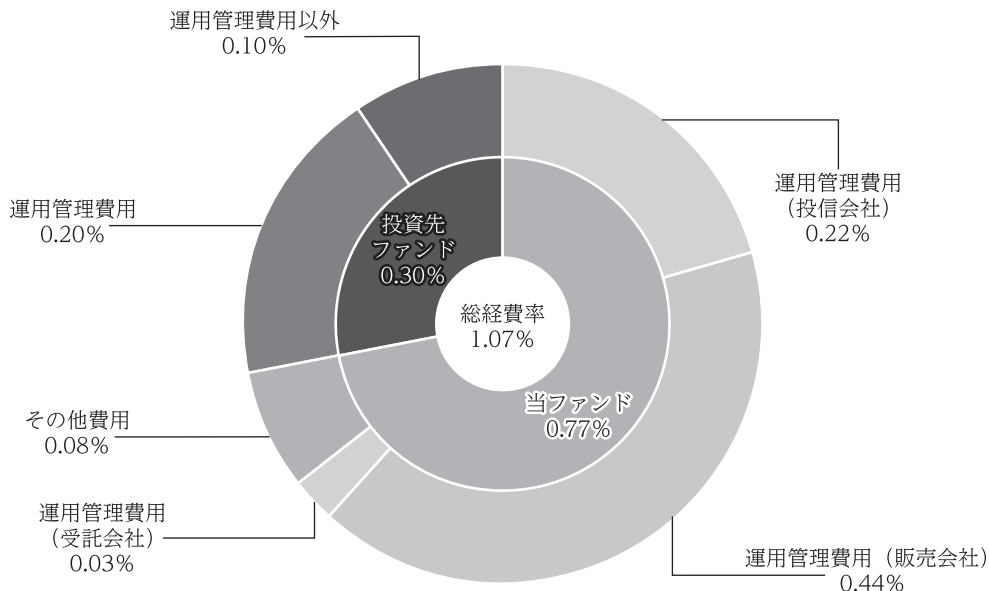
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.07%です。



総経費率 (①+②+③)	1.07%
①当ファンドの費用の比率	0.77%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.20%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

- (注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 投資先ファンドでは、監査費用等がかかる場合がありますが、上記の「運用管理費用以外」には含まれておりません。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2017年4月21日～2022年4月21日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2017年4月21日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日	2017/4/21	2018/4/23	2019/4/22	2020/4/21	2021/4/21	2022/4/21
基準価額 (円)	10,109	9,994	10,176	10,708	11,183	10,016
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	-1.1	1.8	5.2	4.4	-10.4
純資産総額 (百万円)	219	116	91	77	862	2,371

*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

米国債券市場

当（作成）期、米国投資適格社債の価格は下落（利回りは上昇）しました。

米国債利回りは、インフレ率上振れの長期化が懸念されるなか、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締めペースが想定よりも速く進むとの見方から、2022年1月以降大幅に上昇しました。社債スプレッドも、当（作成）期を通じて拡大傾向が続き、需給面からスプレッドが一時的にタイト化する局面もありましたが、政策金利引き上げや量的引き締めの開始観測など、金融環境タイト化への警戒感がスプレッド拡大の材料となりました。2月以降は、ロシアの侵攻によるウクライナ情勢の不透明感もマイナス材料となりました。結果として、米国投資適格社債の利回りは当（作成）期末にかけて上昇基調で推移しました。

国内債券市場

当（作成）期初から2021年12月にかけて、日本国債利回りはレンジ内でのみ合い推移となりました。その後、当（作成）期末にかけては、欧米の長期金利上昇を受けて日本国債利回りも上昇しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリングUS投資適格債ファンド・為替ヘッジ付 (毎月決算型) / (年2回決算型)

主要な投資対象の一つである「イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンドクラス J_{JDM} (hedged)」(以下「USIGボンド・ファンド」ということがあります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。

USIGボンド・ファンド

主として、米国の債券市場において発行されたBBB-相当以上の米ドル建ての投資適格債券に投資を行いました。原則として米ドル建ての資産について対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

銘柄別では、当(作成)期は、コングロマリット(複合企業)、不動産会社、ソフトウェア企業などが発行する債券の保有がプラスとなった一方で、通信会社、メディア会社、アルコール飲料メーカーなどが発行する債券の保有はマイナスに影響しました。

イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

（毎月決算型）

項目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2021年10月22日 ～2021年11月22日	2021年11月23日 ～2021年12月21日	2021年12月22日 ～2022年1月21日	2022年1月22日 ～2022年2月21日	2022年2月22日 ～2022年3月22日	2022年3月23日 ～2022年4月21日
当期分配金 (円)	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率) (%)	0.093	0.093	0.095	0.098	0.101	0.105
当期の収益 (円)	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,525	1,530	1,536	1,539	1,543	1,550

（年2回決算型）

項目	第12期
	2021年10月22日 ～2022年4月21日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,554

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリングUS投資適格債ファンド・為替ヘッジ付（毎月決算型）／（年2回決算型）

主要な投資対象の一つであるUSIG bond・ファンドの組入比率を高位に保つことを基本とします。

USIG bond・ファンド

米国企業は、収益性や財務レバレッジなどファンダメンタルズ面において引き続き改善傾向にあります。一方、FRBによる政策金利引き上げとバランスシート縮小により金融環境が引き締まり、ボラティリティの上昇が予想されます。さらに、ウクライナ情勢の混迷の長期化が、欧州中央銀行（ECB）を始め世界の中央銀行の政策対応に及ぼす影響も懸念されます。このような環境下では業種および銘柄選択が引き続き重要であると考えており、現在は、ファンダメンタルズが良好で割安だと判断できる債券に注目しています。今後も長期的な見通しに立って慎重に業種および銘柄を選択し、ポートフォリオを構築してまいります。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

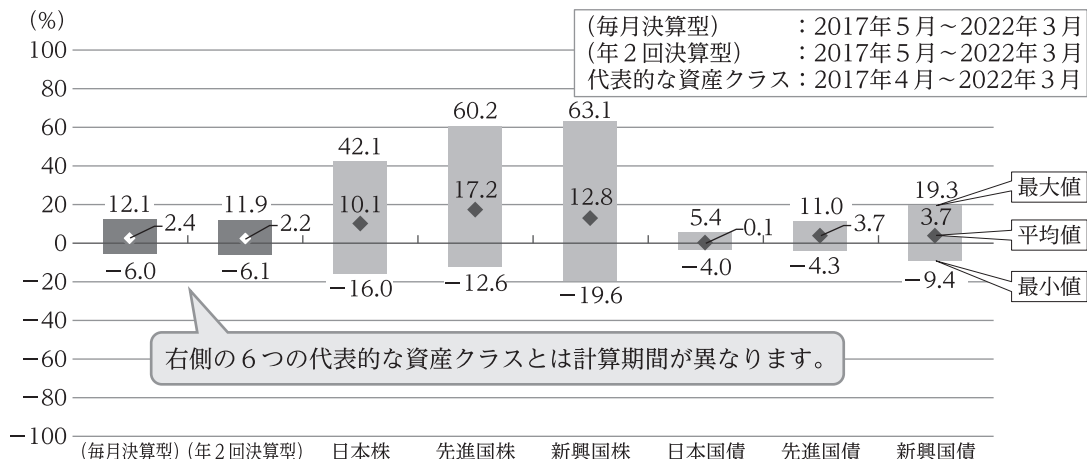
商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2016年5月10日から2026年4月21日まで
運用方針	主として、米ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラス」 _{JDM} (hedged) の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への直接投資は行いません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月21日（休業日の場合は翌営業日） (年2回決算型) 原則として毎年4月21日および10月21日（休業日の場合は翌営業日） 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など TOPIX に関するすべての権利・ノウハウ及び TOPIX に係る商標又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、TOPIX の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI 国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	J P モルガン G B I グローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権は J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。
新興国債	J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

(毎月決算型)

当ファンドの組入資産の内容

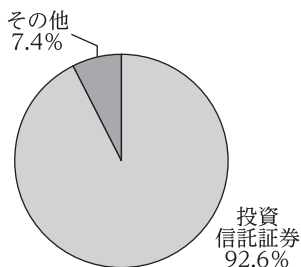
組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

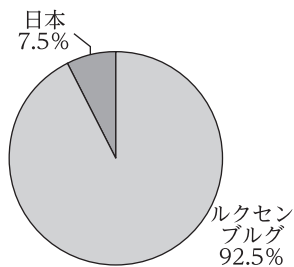
ファンド名	第71期末 2022年4月21日
イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ _{JDM} (hedged)	92.5%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	0.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

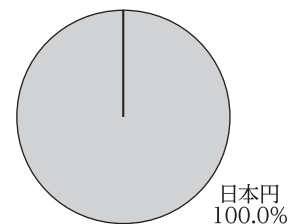
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第66期末 2021年11月22日	第67期末 2021年12月21日	第68期末 2022年1月21日	第69期末 2022年2月21日	第70期末 2022年3月22日	第71期末 2022年4月21日
純資産総額 (円)	44,438,649	42,817,678	41,615,928	40,363,013	38,428,606	36,990,534
受益権総口数 (口)	41,214,673	39,673,427	39,725,472	39,704,145	38,794,382	38,899,660
1万口当たり基準価額 (円)	10,782	10,793	10,476	10,166	9,906	9,509

* 当作成期中 (第66期～第71期) において追加設定元本額は1,321,578円、一部解約元本額は3,587,892円です。

ファンドデータ

(年2回決算型)

当ファンドの組入資産の内容

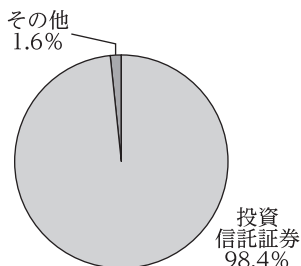
組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

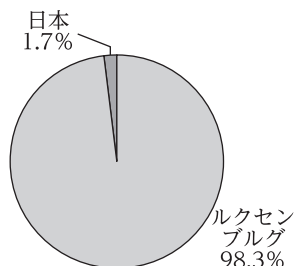
ファンド名	第12期末 2022年4月21日
イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ JDM (hedged)	98.3%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

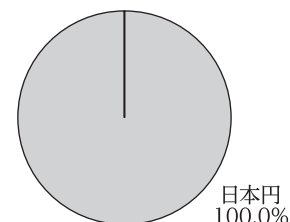
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

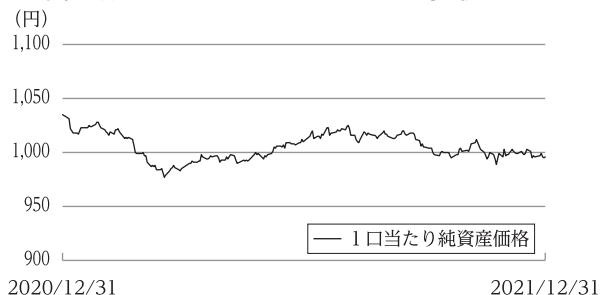
項目	第12期末 2022年4月21日
純資産総額 (円)	2,371,441,882
受益権総口数 (口)	2,367,662,998
1万口当たり基準価額 (円)	10,016

*当期中において追加設定元本額は763,983,913円、一部解約元本額は64,098,421円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ_{JDM} (hedged)>

基準価額（1口当たり純資産価格）の推移



1万口当たりの費用明細

(2021年1月1日～2021年12月31日)

当該期間のAnnual Report（監査済み）には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

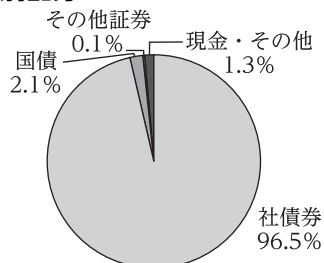
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンドの内容です。

組入上位10銘柄（組入銘柄数：411銘柄）

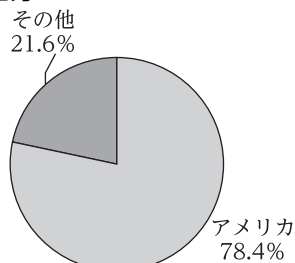
（2021年12月31日現在）

銘柄名	業種	利率	償還日	国・地域	比率
UNITED STATES TREASURY Note/Bond	国債	0.250%	2023/11/15	アメリカ	1.6%
GOLDMAN SACHS GROUP INC/THE FRN	金融	1.948%	2027/10/21	アメリカ	1.1%
VERIZON COMMUNICATIONS INC	通信	4.400%	2034/11/1	アメリカ	1.1%
MORGAN STANLEY FRN	金融	0.790%	2025/5/30	アメリカ	1.1%
JPMORGAN CHASE & CO FRN	銀行	2.069%	2029/6/1	アメリカ	1.0%
BANK OF AMERICA CORP 'MTN' FRN	銀行	1.898%	2031/7/23	アメリカ	0.9%
KREDITANSTALT FUER WIEDERAUFBAU	政府保証債	2.125%	2022/3/7	ドイツ	0.9%
PROTECTIVE LIFE GLOBAL FUNDING '144A'	保険	0.781%	2024/7/5	アメリカ	0.9%
BNP PARIBAS SA '144A' FRN	銀行	1.675%	2027/6/30	フランス	0.9%
HSBC HOLDINGS PLC FRN	銀行	2.251%	2027/11/22	イギリス	0.8%

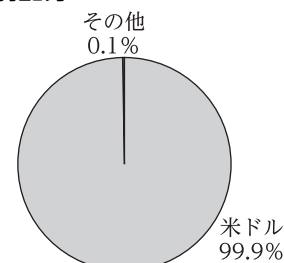
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。

(注2)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

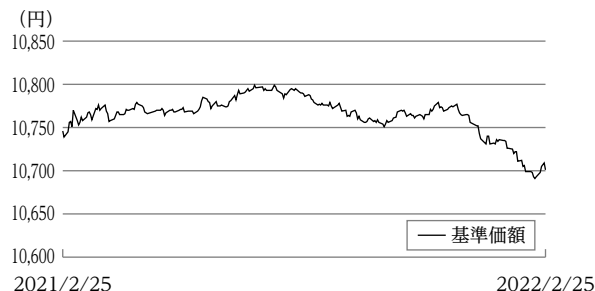
(注3)通貨別配分において、基準日をまたぐ為替取引等の計上により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）>

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(2021年2月26日～2022年2月25日)

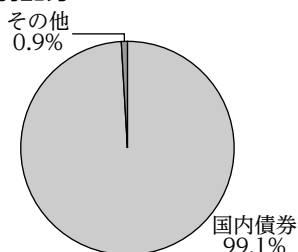
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	24円	0.220%
（投信会社）	(15)	(0.143)
（販売会社）	(2)	(0.022)
（受託会社）	(6)	(0.055)
(b) その他費用	2	0.014
（監査費用）	(2)	(0.014)
合計	26	0.234

組入上位10銘柄（組入銘柄数：12銘柄）

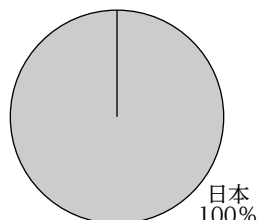
（2022年2月25日現在）

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
第91回利付国債（20年）	国債	2.3%	2026/9/20	日本	21.7%
第359回利付国債（10年）	国債	0.1%	2030/6/20	日本	13.1%
第87回利付国債（20年）	国債	2.2%	2026/3/20	日本	8.7%
第354回利付国債（10年）	国債	0.1%	2029/3/20	日本	8.6%
第63回利付国債（20年）	国債	1.8%	2023/6/20	日本	7.5%
第351回利付国債（10年）	国債	0.1%	2028/6/20	日本	7.3%
第321回利付国債（10年）	国債	1.0%	2022/3/20	日本	7.3%
第67回利付国債（20年）	国債	1.9%	2024/3/20	日本	6.8%
第80回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/6/20	日本	5.9%
第117回利付国債（20年）	国債	2.1%	2030/3/20	日本	4.6%

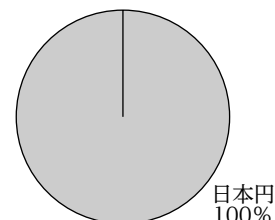
資産別配分



国別配分



通貨別配分



（注1）1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

（注2）組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。